

振り返る

挨拶と振り返り ▶



話し合う

◀ 6グループに分かれて意見を出し合う

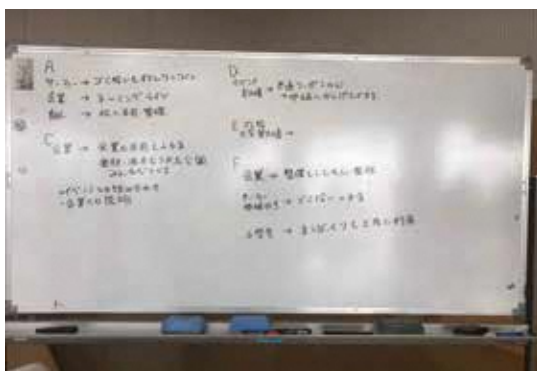
2020 ニュースレター第5号

袋井幸浦の丘 プロジェクト WORKSHOP

幸浦を想い、海や防潮堤の
利用について積極的に考察
するワークショップ、4年目！

提案する

意見の内容を用紙にまとめる ▶



共有する

◀ グループごとにまとめを発表

第3回ワークショップ「将来を見据えた防潮堤整備計画」

令和2年12月13日に幸浦コミュニティセンターにて、「袋井幸浦の丘プロジェクトワークショップ2020」の第3回が行われました。

昨年度に引き続き今年度も静岡文化芸術大学の学生が運営を務め、「将来を見据えた防潮堤の施設整備計画」を地域の皆さんと一緒に考えていきます！

第3回では「防潮堤と各施設の維持管理方法」について話し合いました。防潮堤をきれいに保つためには「防潮堤に関わる人を増やす+楽しく使い守っていく」事が大切です。そこで、まず初めに、防潮堤を定期的に使ってくれそうな団体とその使い方について考えていただきました。次に楽しみながら防潮堤の維持管理について興味を持ってもらうためイベントと維持管理を組み合わせる方法を考えていただきました。また、防風林の松の枯葉を堆肥化をして、野菜を栽培し地域活性化する和歌山県の事例を参考に「防潮堤の来訪者が清掃してくれたら、幸浦の農産物をプレゼントする」など維持管理に積極的に参加してもらうための仕組みについて話し合いました。

浅羽南小の小学生	野外総合学習（里浜の会など）
サーフショップの方	サーフィンの大会
駅伝大会参加者	駅伝大会
ブラスバンド	コンサート
ウミガメ放流会参加者	ウミガメの放流
シニアクラブ	グラウンドゴルフの練習・大会
自治会・企業	地引き網
地明会	運動会
ウォーキング参加者	ウォーキングイベント

▲防潮堤を使ってくれそうな人と使い方（イベント等）

ターゲット	維持管理と特典
サーファーの方	→ ゴミ拾いをしたら1コイン（シャワー施設の利用料）
企業に対して	→ 松の一定区画の管理とネーミングライツ（命名権）
イベントの参加者	→ 清掃してくれたら農産物をプレゼント
ゴミ拾い大会参加者	→ 地域共通クーポンのようなもの（地元還元される）

▲維持管理と特典

次回WSについて

第4回ワークショップは新型コロナウイルス感染症対策としまして、**対面での開催を取り止め**幸浦コミュニティセンターに**今年度のまとめを展示する形式**といたします。



WSまとめイメージCG▶

展示期間 令和3年1月27日（水）～令和3年2月28日（日） ※月曜休館
8:30～17:00

展示場所 幸浦コミュニティセンター

※会場に展示内容に関する意見書を用意しております。ワークショップ参加者以外の方もぜひご意見ご感想をお聞かせください。